

事業区分	継続	事業名	一般会計人件費							
所管課	42	人事課	(総務部)		宇陀市予算					
事業の目的	平成26年9月末退職者2名(勸奨1名 定年1名)の退職手当特別負担金				区分	No.	区分名			
					款	2	総務費			
					項	1	総務管理費			
					目	1	一般管理費			
					細目	1	本庁一般管理費			
根拠条例等										
総合計画										
H26年度 事業の概要	<table border="1"> <tr> <td>人件費</td> <td>(千円)</td> </tr> <tr> <td>退職手当特別負担金 2名分 (勸奨 1名 定年 1名)</td> <td>10,545</td> </tr> </table>				人件費	(千円)	退職手当特別負担金 2名分 (勸奨 1名 定年 1名)	10,545	財源の内訳 (単位:千円)	
	人件費	(千円)								
退職手当特別負担金 2名分 (勸奨 1名 定年 1名)	10,545									
事業の成果					分担金					
					使用料					
					国費					
					県費					
					市債					
				その他						
				一般財源	10,545					
				補正額	10,545					
				H26補正前予算額	3,665,033					
				H26現計予算額	3,675,578					
事業の目標					特定財源の状況					
備考										

事業区分	新規	事業名	公用車購入																														
所管課	45	管財課	(総務部)		宇陀市予算																												
事業の目的	走行距離が多く、且つ老朽化している公用車を、エコカーに買い替えることにより、CO ₂ 排出量及び燃料消費量の削減を図る。				区分 No.	区分名																											
					款	2	総務費																										
					項	1	総務管理費																										
					目	3	財産管理費																										
					細目	1	本庁財産管理費																										
根拠条例等	宇陀市公用車管理規則																																
総合計画	基本計画 第6章 第2節 行政サービスの向上																																
H26年度事業の概要	慢性的に不足している共用車(軽自動車)を2台購入する。				財源の内訳 (単位:千円)																												
	予算積算概要 <table border="1"> <tr> <td>役務費</td> <td>138</td> <td colspan="2">登録代行手数料、自賠責保険料、リサイクル預託代行手数料、リサイクル預託金</td> </tr> <tr> <td>備品購入費</td> <td>2,484</td> <td colspan="2">車両購入費</td> </tr> <tr> <td>公課費</td> <td>14</td> <td colspan="2">自動車重量税</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>2,636</td> <td colspan="2"></td> </tr> </table>				役務費	138	登録代行手数料、自賠責保険料、リサイクル預託代行手数料、リサイクル預託金		備品購入費	2,484	車両購入費		公課費	14	自動車重量税		計	2,636			分担金												
	役務費	138	登録代行手数料、自賠責保険料、リサイクル預託代行手数料、リサイクル預託金																														
	備品購入費	2,484	車両購入費																														
	公課費	14	自動車重量税																														
計	2,636																																
				使用料																													
				国費																													
				県費																													
				市債																													
				その他	2,360																												
事業の成果	■公用車台数推移 1. 台数削減状況(普通会計決算) <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>台数</th> <th>削減台数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H18</td><td>187</td><td></td></tr> <tr><td>H19</td><td>173</td><td>▲ 14</td></tr> <tr><td>H20</td><td>167</td><td>▲ 6</td></tr> <tr><td>H21</td><td>160</td><td>▲ 7</td></tr> <tr><td>H22</td><td>152</td><td>▲ 8</td></tr> <tr><td>H23</td><td>152</td><td>0</td></tr> <tr><td>H24</td><td>155</td><td>3</td></tr> <tr><td>H25</td><td>154</td><td>▲ 1</td></tr> </tbody> </table>				年度	台数	削減台数	H18	187		H19	173	▲ 14	H20	167	▲ 6	H21	160	▲ 7	H22	152	▲ 8	H23	152	0	H24	155	3	H25	154	▲ 1	一般財源	276
	年度	台数	削減台数																														
	H18	187																															
	H19	173	▲ 14																														
	H20	167	▲ 6																														
H21	160	▲ 7																															
H22	152	▲ 8																															
H23	152	0																															
H24	155	3																															
H25	154	▲ 1																															
				補正額	2,636																												
				H26補正前予算額																													
				H26現計予算額	2,636																												
事業の目標	適正な維持管理に努めるとともに事故防止を図る。老朽化の著しい車両をエコカーに更新し、CO ₂ 排出量及び燃料消費量の削減を図る。				特定財源の状況																												
					地域づくり推進基金繰入金(地域の元気臨時交付金事業) 2,360千円																												
備考																																	

事業区分	新規	事業名	菟田野地域事務所地域市民課防犯シャッター設置工事			
所管課	45	管財課	(総務部)			
事業の目的 平成27年2月より、県の出先機関宇陀土木事務所と東部農林振興事務所が、菟田野地域事務所へ機能移転し、業務を開始する。 そのことにより、夜間・休日においても不特定多数の方々の来所が予測されることから、地域市民課の区画にシャッターの設置を行い、基幹系・情報系機器、コピー・FAX機器等や、戸籍・税関係等の保管書類の防犯対策、及び個人情報の保護を図る。			宇陀市予算			
			区分	No.	区分名	
			款	2	総務費	
			項	1	総務管理費	
			目	3	財産管理費	
細目	40	菟田野地域事務所 財産管理費				
根拠条例等	宇陀市地域事務所設置条例 宇陀市庁舎管理規則 宇陀市財産規則					
総合計画	基本計画 第6章 第2節 行政サービスの向上					
H26年度 事業の概要	工事の概要 ・工事費 1,807千円 ・工事内容 シャッター設置面積 幅13.8m×高さ1.65m=22.77㎡ 出入口ドア設置 2箇所 シャッター用柱設置 9箇所			財源の内訳 (単位:千円)		
				分担金		
事業の成果	使用料					
	国費					
	県費					
	市債					
	その他					
一般財源	1,807					
補正額	1,807					
H26補正 前予算額						
H26現計 予算額	1,807					
事業の目標	防犯対策、並びに個人情報の保護			特定財源の状況		
備考						

事業区分	継続	事業名	菟田野地域事務所 財産管理															
所管課	45	管財課	(総務部)		宇陀市予算													
事業の目的	平成27年2月より、県の出先機関宇陀土木事務所と東部農林振興事務所が、菟田野地域事務所へ機能移転し、業務を開始することから、それに伴う菟田野地域事務所の管理・運営を行う。				区分	No.	区分名											
					款	2	総務費											
					項	1	総務管理費											
					目	3	財産管理費											
					細目	40	菟田野地域事務所 財産管理費											
根拠条例等	宇陀市地域事務所設置条例 宇陀市庁舎管理規則 宇陀市財産規則																	
総合計画	基本計画 第6章 第2節 行政サービスの向上																	
H26年度 事業の概要	<table border="1"> <thead> <tr> <th>科目</th> <th>細 節</th> <th>金 額</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>需用費</td> <td>修繕料</td> <td>1,238千円</td> <td>地域事務所避雷針、 空調室外設備の修繕</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合 計</td> <td>1,238千円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				科目	細 節	金 額	摘 要	需用費	修繕料	1,238千円	地域事務所避雷針、 空調室外設備の修繕	合 計		1,238千円		財源の内訳 (単位:千円)	
	科目	細 節	金 額	摘 要														
	需用費	修繕料	1,238千円	地域事務所避雷針、 空調室外設備の修繕														
	合 計		1,238千円															
				分担金														
				使用料														
				国 費														
				県 費														
				市 債														
				その他	922													
事業の成果					一般財源	316												
					補正額	1,238												
					H26補正 前予算額	324												
					H26現計 予算額	1,562												
事業の目標	効率的な財産管理				特定財源の状況 雑入(建物災害共済保険料) 922千円													
	備考																	

事業区分	継続	事業名	桜井宇陀広域連合事務所移転に伴う各市村負担金				
所管課	81	企画課	(企画財政部)		宇陀市予算		
事業の目的	現在の桜井市宇陀広域連合事務所が、経年劣化により耐震基準を満たしていないため、新たな事務所として耐震基準を満たしている桜井東ふれあいセンター分館2階へ移転を行うための経費を負担する。				区分	No.	区分名
					款	2	総務費
					項	1	総務管理費
					目	4	企画費
					細目	1	本庁企画費
根拠条例等							
総合計画	基本計画 第6章 第5節 広域行政の推進						
H26年度事業の概要	事務所移転に伴う構成市村負担金 移転経費総額 1,700千円 宇陀市負担金 558千円				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	今後予測される地震の発生に備えることにより、桜井宇陀広域連合が処理する事務が遅延なく処理できる。				使用料		
					国費		
					県費		
					市債		
					その他		
					一般財源	558	
事業の目標	耐震基準を満たした施設に移転することで、地震発生時においても円滑な事務履行を図る。				補正額	558	
					H26補正前予算額	3,743	
					H26現計予算額	4,301	
					特定財源の状況		
備考							

事業区分	新規	事業名	地域経済循環創造事業補助金				
所管課	81	企画課	(企画財政部)		宇陀市予算		
事業の目的	株式会社テラスは、薬草を食することで人間は健康になることに興味を持ち、近年、人の寿命は延びてきたが、実際の健康寿命が延びていない現状の改善を図るため、身近な薬草、野草及び健康野菜の食の提供する場所を提供したいという考えから、国の地域経済循環創造事業交付金を活用し、「薬草・健康野菜加工と薬草レストラン事業」に取組み市内の薬草、健康野菜の「食の6次産業化」を行い、市民や観光客に健康食を提供するとともに加工品を開発し販売を行う。				区分	No.	区分名
					款	2	総務費
					項	1	総務管理費
					目	4	企画費
細目	8	うだ賑わい創り事業費					
根拠条例等	地域経済循環創造事業補助金要綱						
総合計画	基本計画 第5章 第1節 農林業の活性化						
H26年度事業の概要	地域経済循環創造事業補助金 5,000千円 【補助金を活用しての事業内容】 自家栽培及び市内で生産された薬草、野草、健康野菜及び美容食品の加工・販売とそれらを利用した薬草レストランで身体に優しく健康な食を提供する。				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	地域資源を用いた事業で、事業を通じて、農地の再生や交流人口の増加等の外部効果が認められ、地元雇用が創出される。				使用料		
					国費	5,000	
					県費		
					市債		
					その他		
					一般財源		
事業の目標	地元産物の消費拡大及び薬草と健康なまちづくり宇陀市としてのイメージを高める。				補正額	5,000	
					H26補正前予算額		
					H26現計予算額	5,000	
事業の目標					特定財源の状況		
					地域経済循環創造事業交付金 5,000千円		
備考							

事業区分	継続	事業名	薬草(大和当帰)栽培委託事業				
所管課	81	企画課	(企画財政部)		宇陀市予算		
事業の目的	推古天皇の薬草狩りの地、また製薬業発祥の地宇陀市として「薬草のまちづくり」を推進し宇陀市の賑わい創りに資する。そのためにも、まず薬草栽培が宇陀市で特産化されるためにその試験栽培を行い、得たデータを基に栽培推進を支援する。				区分	No.	区分名
					款	2	総務費
					項	1	総務管理費
					目	4	企画費
					細目	8	うだ賑わい創り事業費
根拠条例等							
総合計画	基本計画 第5章 第1節 農林業活性化 ・ 第5章 第2節 商工業の活性化						
H26年度事業の概要	薬草栽培における大和当帰苗の安定供給 大和当帰苗栽培委託 3,000千円				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	市内において大和当帰栽培を推進するにあたり、流通していない大和当帰苗を栽培することにより、耕作者に安定した苗の供給が図れる。 また、大和当帰を使った加工品や料理などにより経済や観光の刺激策となる。				使用料		
					国費		
					県費		
					市債		
					その他		
					一般財源	3,000	
補正額	3,000						
H26補正前予算額	1,648						
H26現計予算額	4,648						
事業の目標	耕作面積の拡大と地域商工業の活性化				特定財源の状況		
備考							

事業区分	継続	事業名	市勢要覧作成業務(財源更正)				
所管課	81	企画課	(企画財政部)		宇陀市予算		
事業の目的	宇陀市は平成28年1月に市制施行10周年を迎えるにあたり、この節目をひとつの契機ととらえ、未来に向けた新しいスタートとして、市民の皆さんが本市の持つさまざまな魅力を再発見・再認識し、郷土に誇りを持てる各種事業を実施する。平成26年度は、その先駆けとして市勢要覧の作成を行う。				区分 No.	区分名	
					款	2	総務費
					項	1	総務管理費
					目	4	企画費
					細目	10	市制10周年記念事業費
根拠条例等							
総合計画	基本計画 第1章 第4節 持続可能な調和のとれたまち						
H26年度事業の概要	市勢要覧作成 作成業務委託料 8,100千円 事業委託するだけでなく、プロジェクトチームを立ち上げ、宇陀市独自のPRを兼ねた人々の目にとまる「市勢要覧」を作成する。				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	宇陀市のPRも兼ね備えた独自の市勢要覧を作成することにより、市内外に宇陀市の魅力を発信できる。				使用料		
					国費	▲ 8,100	
					県費	5,400	
					市債		
					その他		
					一般財源	2,700	
					補正額		
H26補正前予算額	8,100						
H26現計予算額	8,100						
事業の目標	市民の宇陀市の魅力の再発見・再認識に寄与する。				特定財源の状況		
					合併市町村補助金 △8,100千円 活力あふれる市町村応援補助金 5,400千円		
備考							

事業区分	継続	事業名	臨時室生口大野駅案内所係員配置事業																												
所管課	81	企画課	(企画財政部)		宇陀市予算																										
事業の目的	近鉄室生口大野駅及び三本松駅が駅係員無配置化(平成25年12月21日実施)されたことに伴い、一般利用者の不安解消を図るため、室生口大野駅改札出口付近に臨時案内所を開設し、係員配置によるもてなしにより利用者の安心安全を確保する。 また、当初案内所設置が平成26年2月から本年11月までと期間が短く、平成27年3月末まで継続させることで、1年間の実績を踏まえ設置効果の検証を行う。				区分 No.	区分名																									
					款	2	総務費																								
					項	1	総務管理費																								
					目	4	企画費																								
細目	80	室生地域事務所企画費																													
根拠条例等																															
総合計画	基本計画 第5章 第5節 公共交通機関の充実																														
H26年度事業の概要	近鉄室生口大野駅への案内所係員配置延長により不足する経費 (H26. 12. 1~H27. 3. 31) ・電話代3千円 ・案内係員配置委託料400千円 ・駅構内使用料28千円 ・合計431千円				財源の内訳 (単位:千円)																										
	○開設に伴う経費見込み 単位:千円				分担金																										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費項目</th> <th>年間見込額</th> <th>当初予算額 (H26.4~H26.11)</th> <th>補正額 (H26.12~H27.3)</th> <th>積算根拠</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>係員配置委託料</td> <td>2,080</td> <td>1,680</td> <td>400</td> <td>日額5,698円</td> </tr> <tr> <td>駅構内敷地料</td> <td>101</td> <td>73</td> <td>28</td> <td>月額8,400円</td> </tr> <tr> <td>電話代等(非常用携帯)</td> <td>83</td> <td>80</td> <td>3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td>431</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				経費項目	年間見込額	当初予算額 (H26.4~H26.11)	補正額 (H26.12~H27.3)	積算根拠	係員配置委託料	2,080	1,680	400	日額5,698円	駅構内敷地料	101	73	28	月額8,400円	電話代等(非常用携帯)	83	80	3		計			431		使用料	
	経費項目	年間見込額	当初予算額 (H26.4~H26.11)	補正額 (H26.12~H27.3)	積算根拠																										
係員配置委託料	2,080	1,680	400	日額5,698円																											
駅構内敷地料	101	73	28	月額8,400円																											
電話代等(非常用携帯)	83	80	3																												
計			431																												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>開設日数(日)</th> <th>365</th> <th>244</th> <th>121</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				開設日数(日)	365	244	121					国費																			
開設日数(日)	365	244	121																												
事業の成果	観光客及び一般利用客の利便性や安心の確保が図れ、観光地玄関口としてのイメージを高めることができる。 <参考> ○実証結果(開設~7月)より 「①介助、②観光案内等」のサービスを行った結果、「①介助」では高齢者等に対し 319件(日平均1.8件)で、些少ではあるが高齢者の不安解消に寄与。また、観光等の案内では4・5月の観光シーズンを主に6,478件(日37.0件)の利用があり、観光客へのおもてなしや観光地としての受け皿が保たれる。				県費																										
					市債																										
					その他																										
					一般財源	431																									
				補正額	431																										
				H26補正前予算額	1,833																										
				H26現計予算額	2,264																										
事業の目標	駅利用者の利便性や安心安全の確保				特定財源の状況																										
備考																															

事業区分	継続	事業名	防犯灯設置事業補助金						
所管課	41	総務課	(総務部)			宇陀市予算			
事業の目的	市民の防犯意識を高め、犯罪の防止と通行の安全を図るため、自治会等に対し、防犯灯設置事業に要する経費について補助するもの。 防犯灯のLED化を推進することにより電力消費が抑えられ、省エネとCO ₂ 削減など環境配慮の高揚を図る。 また、LED光にすることにより夜道がより明るくなることにより、犯罪防止力を高める。					区分	No.	区分名	
						款	2	総務費	
						項	1	総務管理費	
						目	10	生活安全対策費	
細目	1	本庁生活安全対策費							
根拠条例等	宇陀市防犯灯設置事業補助金交付要綱								
総合計画	基本計画 第3章 第5節 安全・安心な暮らしの実現 防犯体制の強化								
H26年度事業の概要	防犯灯設置事業補助金の対象となる経費、補助金(榛原地域分)						財源の内訳 (単位:千円)		
	補助対象経費		補助金額	件数	円		分担金		
	防犯灯の新設	蛍光灯	10千円	3	30千円		使用料		
		LED	14千円	5	70千円		国費		
	既設電柱の照明器具の新設	蛍光灯	6千円	7	42千円		県費		
		LED	10千円	15	150千円		市債		
	照明器具の更新	蛍光灯	3千円	5	15千円		その他		
		LED	7千円	311	2,177千円		一般財源	203	
							2,484千円	補正額	203
	照明器具の更新 282基 + 今回補正分 29基=311基							H26補正前予算額	2,281
事業の成果	防犯灯補助金交付実績(榛原地域分)						H26現計予算額	2,484	
							(単位:基)		
	防犯灯補助金交付実績	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	
	防犯灯新設	9	18	16	20	12	6	2	
	既設電柱に照明器具の新設	25	30	27	15	5	15	14	
	照明器具の更新	54	68	39	28	9	46	207	
	計	88	116	82	63	26	67	223	
*LED化補助については、平成25年度より実施									
事業の目標	安全・安心なまちづくりを目指して、夜間の犯罪の防止と通行の安全を図る。また防犯灯のLED化を推進することにより電力消費が抑えられ、省エネとCO ₂ 削減など環境配慮の高揚を図る。 また、LED光にすることにより夜間がより明るくなることにより、犯罪抑止力を高めるとともに、電気料金と蛍光灯交換経費の削減により、自治会経費が削減される。						特定財源の状況		
備考									

事業区分	継続	事業名	防犯灯設置事業補助金					
所管課	41	総務課	(総務部)		宇陀市予算			
事業の目的	市民の防犯意識を高め、犯罪の防止と通行の安全を図るため、自治会等に対し、防犯灯設置事業に要する経費について補助するもの。 防犯灯のLED化を推進することにより電力消費が抑えられ、省エネとCO ₂ 削減など環境配慮の高揚を図る。 また、LED光にすることにより夜道がより明るくなることにより、犯罪防止力を高める。				区分	No.	区分名	
					款	2	総務費	
					項	1	総務管理費	
					目	10	生活安全対策費	
細目	20	大宇陀地域事務所生活安全対策費						
根拠条例等	宇陀市防犯灯設置事業補助金交付要綱							
総合計画	基本計画 第3章 第5節 安全・安心な暮らしの実現 防犯体制の強化							
H26年度事業の概要	防犯灯設置事業補助金の対象となる経費、補助金(大宇陀地域分)					財源の内訳 (単位:千円)		
	(1基あたり)					分担金		
	補助対象経費		補助金額	件数	円	使用料		
	防犯灯の新設	蛍光灯	10千円	1	10千円	国費		
		LED	14千円	1	14千円	県費		
	既設電柱の照明器具の新設	蛍光灯	6千円	4	24千円	市債		
		LED	10千円	10	100千円	その他		
	照明器具の更新	蛍光灯	3千円	11	33千円	一般財源	91	
		LED	7千円	38	266千円	補正額	91	
	照明器具の更新 25基 + 今回補正分 13基=38基					447千円	H26補正前予算額	356
						H26現計予算額	447	
事業の成果	地域の夜間の安全確保							
	防犯灯補助金交付実績(大宇陀地域分)							
	(単位:基)							
	某南東補助金交付実績							
		H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
	防犯灯新設	0	2	0	1	0	1	1
	既設電柱に照明器具の新設	7	5	9	2	0	1	10
	照明器具の更新	2	2	0	2	1	4	100
	計	9	9	9	5	1	6	111
	※LED化補助については、平成25年度より実施							
事業の目標	安全・安心なまちづくりを目指して、夜間の犯罪の防止と通行の安全を図る。また防犯灯のLED化を推進することにより電力消費が抑えられ、省エネとCO ₂ 削減など環境配慮の高揚を図る。 また、LED光にすることにより夜間がより明るくなることにより、犯罪抑止力を高めるとともに、電気料金と蛍光灯交換経費の削減により、自治会経費が削減される。					特定財源の状況		
備考								

事業区分	継続	事業名	防犯灯設置事業補助金					
所管課	41	総務課	(総務部)		宇陀市予算			
事業の目的	市民の防犯意識を高め、犯罪の防止と通行の安全を図るため、自治会等に対し、防犯灯設置事業に要する経費について補助するもの。 防犯灯のLED化を推進することにより電力消費が抑えられ、省エネとCO ₂ 削減など環境配慮の高揚を図る。 また、LED光にすることにより夜道がより明るくなることにより、犯罪防止力を高める。					区分	No.	区分名
						款	2	総務費
						項	1	総務管理費
						目	10	生活安全対策費
細目	40	菟田野地域事務所生活安全対策費						
根拠条例等	宇陀市防犯灯設置事業補助金交付要綱							
総合計画	基本計画 第3章 第5節 安全・安心な暮らしの実現 防犯体制の強化							
H26年度事業の概要	防犯灯設置事業補助金の対象となる経費、補助金 (菟田野地域分)					財源の内訳 (単位:千円)		
	(1基あたり)					分担金		
	補助対象経費		補助金額	件数	円	使用料		
	防犯灯の新設	蛍光灯	10千円	1	10千円	国費		
		LED	14千円	5	70千円	県費		
	既設電柱の照明器具の新設	蛍光灯	6千円	2	12千円	市債		
		LED	10千円	5	50千円	その他		
	照明器具の更新	蛍光灯	3千円	3	9千円	一般財源	595	
		LED	7千円	285	1995千円	補正額	595	
	2146千円					H26補正前予算額	1,551	
照明器具の更新 200基 + 今回補正分 85基 = 285基					H26現計予算額	2,146		
事業の成果	防犯灯補助金交付実績(菟田野地域分)							
	(単位:基)							
	防犯灯補助金交付実績	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
	防犯灯新設	0	0	1	0	0	0	0
	既設電柱に照明器具の新設	0	1	1	1	0	0	1
	照明器具の更新	0	1	1	5	1	0	9
	計	0	2	3	6	1	0	10
	*LED化補助については、平成25年度より実施							
事業の目標	安全・安心なまちづくりを目指して、夜間の犯罪の防止と通行の安全を図る。また防犯灯のLED化を推進することにより電力消費が抑えられ、省エネとCO ₂ 削減など環境配慮の高揚を図る。 また、LED光にすることにより夜間がより明るくなることにより、犯罪抑止力を高めるとともに、電気料金と蛍光灯交換経費の削減により、自治会経費が削減される。					特定財源の状況		
備考								

事業区分	新規	事業名	まちづくり協議会活動支援事業				
所管課	147	まちづくり支援課	(企画財政部)		宇陀市予算		
事業の目的	まちづくり協議会の活動を支援するため、市施設(旧守道小学校)の整備を行い、地域活動の拠点施設として活用を図る。				区分	No.	区分名
					款	2	総務費
					項	1	総務管理費
					目	17	まちづくり支援費
					細目	1	まちづくり支援費
根拠条例等	宇陀市のまちづくりの基本理念条例						
総合計画	基本計画 第6章 第1節 市民と行政の協働のまちづくり						
H26年度事業の概要	活動拠点となる集会室及び事務室を確保するため、内装工事、電気工事、給排水工事を行う。				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	住民主体のまちづくり組織を形成することにより、自らが考え行動する気運を盛りあげ、農産物を中心とした六次産業に取り組むなど、地域の実情に応じた課題解決を行うことができる組織を築く。				使用料		
					国費		
					県費		
					市債		
					その他		
一般財源		1,500					
補正額		1,500					
H26補正前予算額							
H26現計予算額		1,500					
事業の目標	地域課題の解決に向けたまちづくり協議会の活動を支援するとともに、地域の元気を創出する組織へと成長を促す。				特定財源の状況		
備考							

事業区分	新規	事業名	マイナンバー法対応例規整備業務委託料				
所管課	41	総務課	(総務部)		宇陀市予算		
事業の目的	平成25年5月に「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」(マイナンバー法)や同整備法が制定され、平成27年10月から住民に向けてのマイナンバーの付番・通知が開始、平成28年1月にはマイナンバーの利用が開始される。このため今回の補正はそれに対応するための個人情報保護条例の改正、マイナンバーの独自利用のための条例制定、個人番号カードの独自利用のための条例制定、その他手続き規定の整備のための例規が必要となる。				区分 No.	区分名	
					款	2	総務費
					項	1	総務管理費
					目	18	社会保障・税番号制度導入費
					細目	1	社会保障・税番号制度導入費
根拠条例等	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律						
総合計画							
H26年度事業の概要	マイナンバー法及び整備法の施行に伴う例規への影響調査を実施する。 マイナンバー法対応例規整備業務委託料 1,404千円 マイナンバー法及び整備法の制定趣旨と関連法における改正内容を把握し、例規への影響調査資料の作成。 マイナンバー法の施行に伴い個人情報保護条例に係る改正検討箇所の指摘を行う資料作成。				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	① 個人情報保護条例の適切な取り扱い。 ② マイナンバーの独自利用のための条例制定 社会保障、地方税、防災その他これらに類する事務については、条例を定めれば、独自にマイナンバーを利用可能になる。 ③ 個人番号カードの独自利用のための条例制定 ④ その他手続き規定の整備				使用料		
					国費		
					県費		
					市債		
					その他		
					一般財源	1,404	
					補正額	1,404	
H26補正前予算額							
H26現計予算額	1,404						
事業の目標	行政を効率化し、市民の利便性を高め、公平公正な社会を実現することを目標とするための宇陀市の条例整備。 ① 行政の効率化 複数の業務での連携。 ② 市民の利便性 申請書類簡素化や自己情報の確認 ③ 公平公正な社会 所得や他の行政サービスの受給状態の把握				特定財源の状況		
備考							

事業区分	新規	事業名	社会保障・税番号制度システム改修			
所管課	44	秘書広報情報課 (総務部)	宇陀市予算			
事業の目的	社会保障・税番号制度(マイナンバー)は、複数の機関に存在する個人の情報を同一人の情報であるという確認を行うための社会基盤(インフラ)であり、「社会保障・税制度の効率性・透明性の確保」と「国民にとって利便性の高い公平・公正な社会の実現」に向けて、市民一人ひとりに個人番号を割り当てる制度である。 これを整備することにより、行政側では、「行政運営の効率化」と「より公平な給付と負担の確保」され、市民側では、行政手続等における「利便性の向上」などが図れる。			区分	No.	区分名
				款	2	総務費
				項	1	総務管理費
				目	18	社会保障・税番号制度導入費
細目	1	社会保障・税番号制度導入費				
根拠条例等	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律 社会保障・税番号制度システム整備費補助金交付要綱					
総合計画	基本計画 第3章 第6節 情報通信基盤の整備					
H26年度事業の概要	社会保障・税番号制度システム整備に係るシステム改修 総務省分 経費 国庫配分予定額 21,460,140円 11,233,000円 厚生労働省分 経費 国庫補助予定額 19,990,800円 13,131,000円 合計 経費 国庫補助予定額 41,450,940円 24,364,000円			財源の内訳 (単位:千円)		
				分担金		使用料
事業の成果	行政運営の効率化及び行政分野におけるより公正な給付と負担の確保を図り、かつ、これらの者に対し申請、届出その他の手続を行い、又はこれらの者から便益の提供を受ける市民が、手続の簡素化による負担の軽減、本人確認の簡易な手段その他の利便性の向上が得られる。			国費	24,364	
				県費		
				市債		
				その他		
				一般財源	17,087	
事業の目標	国では次の内容を「実現すべき社会」として位置付け、社会保障給付と負担の公正性の確保等に必要な基盤を構築する。 ・より公平・公正な社会 ・社会保障がきめ細やかかつ的確に行われる社会 ・行政に過誤や無駄のない社会 ・国民にとって利便性の高い社会 ・国民の権利を守り、国民が自己情報をコントロールできる社会			補正額	41,451	
				H26補正前予算額		
				H26現計予算額	41,451	
備考				特定財源の状況		
				社会保障・税番号制度システム整備費補助金 24,364千円		

事業区分	新規	事業名	社会保障・税番号制度中間サーバー・プラットフォーム利用負担金			
所管課	44	秘書広報情報課	(総務部)			
			宇陀市予算			
事業の目的	社会保障・税番号制度(マイナンバー)は、複数の機関に存在する個人の情報を同一人の情報であるという確認を行うための社会基盤(インフラ)であり、「社会保障・税制度の効率性・透明性の確保」と「国民にとって利便性の高い公平・公正な社会の実現」に向けて、市民一人ひとりに個人番号を割り当てる制度である。 これを整備することにより、行政側では、「行政運営の効率化」と「より公平な給付と負担の確保」され、市民側では、行政手続等における「利便性の向上」などが図れる。			区分	No.	区分名
				款	2	総務費
				項	1	総務管理費
				目	18	社会保障・税番号制度導入費
細目	1	社会保障・税番号制度導入費				
根拠条例等	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律					
総合計画	基本計画 第3章 第6節 情報通信基盤の整備					
H26年度事業の概要	社会保障・税番号制度(マイナンバー)のシステム整備において、地方公共団体情報システム機構が、各地方公共団体の負担金により中間サーバーのハードウェア等について共同化・集約化を図るため、整備・運用するプラットフォームの構築、運用保守を行うものである。 なお、本年度は、中間サーバーの整備に係る経費である。 利用負担金 981,000円 国庫配分予定額 981,000円			財源の内訳 (単位:千円)		
				分担金		
事業の成果	行政運営の効率化及び行政分野におけるより公正な給付と負担の確保を図り、かつ、これらの者に対し申請、届出その他の手続を行い、又はこれらの者から便益の提供を受ける国民が、手続の簡素化による負担の軽減、本人確認の簡易な手段その他の利便性の向上が得られる。			使用料		
				国費	981	
				県費		
				市債		
				その他		
				一般財源		
事業の目標	国では次の内容を「実現すべき社会」として位置付け、社会保障給付と負担の公正性の確保等に必要な基盤を構築する。 ・より公平・公正な社会 ・社会保障がきめ細やかかつ的確に行われる社会 ・行政に過誤や無駄のない社会 ・国民にとって利便性の高い社会 ・国民の権利を守り、国民が自己情報をコントロールできる社会			補正額	981	
				H26補正前予算額		
				H26現計予算額	981	
備考				特定財源の状況		
				社会保障・税番号制度システム整備費補助金 981千円		

事業区分	継続	事業名	賦課徴収事務				
所管課	62	税務課	(企画財政部)		宇陀市予算		
事業の目的	公平かつ適正な賦課徴収事務を行い、市の財政確保に努める。				区分	No.	区分名
					款	2	総務費
					項	2	徴税費
					目	2	賦課徴収費
					細目	1	本庁賦課徴収費
根拠条例等	地方税法 宇陀市税条例						
総合計画							
H26年度事業の概要	平成26年度個人住民税の配当割控除及び株式等譲渡所得割控除に係る還付金額が増加したこと等により予算が不足するため、増額を行う。 (節)23. 償還金、利子及び割引料(課税更正還付金) 当初 6,000千円 → 補正後 10,200千円				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果					使用料		
					国費		
					県費		
					市債		
					その他		
					一般財源	4,200	
事業の目標					補正額	4,200	
					H26補正前予算額	6,000	
					H26現計予算額	10,200	
					特定財源の状況		
備考							

事業区分	継続	事業名	指定統計調査				
所管課	81	企画課	(企画財政部)		宇陀市予算		
事業の目的	公的統計は国民にとって合理的な意思決定を行うための基盤となる重要な情報であり、公的統計で得た結果を分析し、国民経済の健全な発展及び国民生活の向上に寄与することを目的として、様々な統計調査が実施されている。				区分 No.	区分名	
					款	2	総務費
					項	5	統計調査費
					目	1	指定統計費
					細目	1	指定統計費
根拠条例等	統計法(平成19年法律第53号)に基づく基幹統計調査						
総合計画							
H26年度事業の概要	指定統計調査県委託金の確定に伴う追加経費				財源の内訳 (単位:千円)		
	職員時間外勤務手当	50千円			分担金		
	臨時職員等社会保険料事業主負担金	25千円			使用料		
	消耗品費	270千円			国費		
	通信運搬費	60千円			県費	405	
事業の成果	公的統計は、国民にとって合理的な意思決定を行うための基盤となる重要な情報であり、公的統計で得た結果を分析し、国民経済の健全な発展及び国民生活の向上に寄与する。				市債		
					その他		
					一般財源		
					補正額	405	
					H26補正前予算額	6,324	
	H26現計予算額	6,729					
事業の目標	経済の健全な発展及び国民生活の向上に寄与する。				特定財源の状況		
					県統計調査費委託金 405千円		
備考							

事業区分	新規	事業名	地域包括ケアシステム推進事業				
所管課	123	健康増進課	(健康福祉部)		宇陀市予算		
事業の目的	地域包括ケアシステム及び在宅医療を推進することを目的に「仮称 地域包括ケア総合センター」を開設し、市民にセンターの役割を周知するとともに、主事業を開始する。また、事業を実施する担当職員の資質向上を図るための研修を実施する。				区分 No.	区分名	
					款	3	民生費
					項	1	社会福祉費
					目	12	包括ケア推進費
細目	1	包括ケア推進費					
根拠条例等	地域医療・介護総合確保法						
総合計画	基本計画 第2章 第3節 高齢者が安心して暮らせるまち						
H26年度事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ●「仮称 地域包括ケア総合センター」紹介のパンフレットを広報に折り込み周知する 284千円 ●在宅医療について、市民の理解を深めるための講演会を実施する 200千円 ●事業を推進する担当者の資質向上を図るための研修及び視察研修 293千円 ●「仮称 地域包括ケア総合センター」において相談活動を実施するための費用 1,647千円 ●公用車購入費用 1,308千円 				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	「仮称 地域包括ケア総合センター」が、地域包括ケアシステム及び在宅医療を推進する拠点として活動を開始する準備体制をつくることと、広く市民への周知が図れる。 担当職員のスキルを高めることで、効果的な推進体制を推進することができる。				使用料		
					国費		
					県費		
					市債		
					その他	1,169	
					一般財源	2,563	
補正額	3,732						
H26補正前予算額							
H26現計予算額	3,732						
事業の目標	・「仮称 地域包括ケア総合センター」の名称を全世帯に周知するとともに、「相談事業」を開始する。 ・「在宅医療を推進する講演会」について、地域包括ケアシステム構築の核となる市民(まちづくり協議会長、自治会長、民生児童委員)を中心に100名以上の参加を呼びかける。 ・担当者のスキルを図る研修を通じて、次年度以降の事業を計画的に展開する。				特定財源の状況		
					地域づくり推進基金繰入金(地域の元気臨時交付金事業) 1,169千円		
備考							

事業区分	新規	事業名	榛原保健センター改修工事				
所管課	123	健康増進課	(健康福祉部)		宇陀市予算		
事業の目的	保健センター業務及び地域包括支援センターと在宅医療拠点が一体的に機能する為の総合的な施設として、榛原保健センターの改修工事を行う。				区分 No.	区分名	
					款	3	民生費
					項	1	社会福祉費
					目	12	包括ケア推進費
細目	1	包括ケア推進費					
根拠条例等	地域医療・介護総合確保法						
総合計画	基本計画 第2章 第3節 高齢者が安心して暮らせるまち						
H26年度事業の概要	①屋上駐車場進入口舗装工事 ②3階入り口階段改修工事 ③3階玄関ホール照明器具取替え工事 ④3階旧検査室・診察室(入り口扉取替え工事) ⑤3階旧検査室・診察室(水道設備撤去工事) ⑥3階旧検査室・診察室(エアコン設置工事) ⑦3階旧事務所、旧検査室・診察室(クロス張替え工事) ⑧3階トイレ(身障用、男子・女子用)改修工事 ⑨看板設置工事				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	《仮称》「地域包括ケア総合センター」を新規で建築するよりも、既存の建物である「榛原保健センター」を改修し使用することにより経費を抑えることができる。				使用料		
					国費		
					県費		
					市債	6,600	
					その他		
					一般財源	400	
事業の目標	現在、菟田野に有る地域包括支援センターの機能と新規で開設する在宅医療連携拠点の機能を併せ持つ総合センターとして位置付ける。				補正額	7,000	
					H26補正前予算額		
					H26現計予算額	7,000	
備考					特定財源の状況		
					合併特例債 6,600千円		

事業区分	継続	事業名	子育て支援事業(財源更正)					
所管課	126	子ども支援課	(健康福祉部)		宇陀市予算			
事業の目的	子ども・子育て世帯を対象に、子育て支援事業を実施し、円滑に利用できるよう、地域の中で子どもが健やかに育成できる環境を図る。				区分	No.	区分名	
					款	3	民生費	
					項	2	児童福祉費	
					目	1	児童福祉総務費	
					細目	1	本庁児童福祉総務費	
根拠条例等	子ども・子育て支援法第59条							
総合計画	基本計画 第2章 第5節 子育て支援が充実したまち							
H26年度事業の概要	事業名		国 費			県 費		
	事業費	補正前 補助率(0)	補正後 補助率(1/3)	補正額	補正前 補助率(1/2)	補正後 補助率(1/3)	補正額	
	こんにちは赤ちゃん事業	765	0	255	255	382	255	△ 127
	ファミリーサポートセンター事業	2,000	0	666	666	1,000	666	△ 334
	養育支援訪問事業	80	0	26	26	40	26	△ 14
	計	2,845	0	947	947	1,422	947	△ 475
H26年度事業の概要	事業名		国 費			県 費		
	事業費	補正前 補助率(0)	補正後 補助率(2/3)	補正額	補正前 補助率(0)	補正後 補助率(2/3)	補正額	
	子ども元気ダンス作成事業	770			0	513	513	
		国費補正額計		947	県費補正額計		38	
事業の成果	安心して子ども・子育てを過ごせる、地域づくりを図る。							
	財源の内訳 (単位:千円)							
	分担金							
	使用料							
	国 費	947						
県 費	38							
市 債								
その他								
一般財源	▲ 985							
補正額								
H26補正前予算額	7,628							
H26現計予算額	7,628							
事業の目標	子ども・子育て支援法に規定されている、市が実施する子育て支援事業に対して、保育緊急確保事業費補助金を活用し、子ども・子育て支援事業を行い地域の中で子どもが健やかに育成できる環境を図る。				特定財源の状況			
					保育緊急確保事業費補助金(国費) こんにちは赤ちゃん事業 255千円 ファミリーサポートセンター事業 666千円 養育支援訪問事業 26千円 子育て支援事業補助金(県費) こんにちは赤ちゃん事業 △127千円 ファミリーサポートセンター事業 △334千円 養育支援訪問事業 △14千円 活力あふれる市町村応援補助金 513千円			
備考								

事業区分	継続	事業名	私立保育所児童措置事業																																								
所管課	126	子ども支援課	(健康福祉部)		宇陀市予算																																						
事業の目的	児童福祉法に基づき保護者が居宅内外勤務、疾病又は災害等により、家庭内において十分保育することが出来ない児童を、保護者にかわって私立保育園に於いて保育を実施する。また、民間保育所に対し、その振興を図るため補助金を交付することにより、児童福祉の増進に寄与する。				区分	No.	区分名																																				
					款	3	民生費																																				
					項	2	児童福祉費																																				
					目	2	児童措置費																																				
細目	1	本庁児童措置費																																									
根拠条例等	◆児童福祉法第35条第3項◆宇陀市保育の実施に関する条例及び同条例施行規等◆宇陀市民間保育所運営補助金交付要綱																																										
総合計画	基本計画 第2章 第5節 子育て支援が充実したまち																																										
H26年度事業の概要	○返還金(受入額と実績額との差額) 保育所運営費国庫負担金(H25分) 16,828,425(交付額)-16,800,955(実績額)=27,470(返還額) 保育所運営費県費負担金(H25分) 8,414,212(交付額)-8,400,477(実績額)=13,735(返還額) ○しらゆり保育園補助金 一時預かり事業における国の補助基準額 530,000円から1,580,000円に変更 差額 1,050,000円				財源の内訳 (単位:千円)																																						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">事業名</th> <th rowspan="2">事業費</th> <th colspan="3">国 費</th> <th colspan="3">県 費</th> </tr> <tr> <th>補正前 補助率(0)</th> <th>補正後 補助率(1/3)</th> <th>補正額</th> <th>補正前 補助率(1/2)</th> <th>補正後 補助率(1/3)</th> <th>補正額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一時預かり事業(私立)</td> <td>1,580</td> <td>0</td> <td>527</td> <td>527</td> <td>265</td> <td>527</td> <td>262</td> </tr> <tr> <td>子育て短期支援事業</td> <td>30</td> <td>0</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>15</td> <td>10</td> <td>△ 5</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1,610</td> <td>0</td> <td>537</td> <td>537</td> <td>280</td> <td>537</td> <td>257</td> </tr> </tbody> </table>		事業名	事業費	国 費			県 費			補正前 補助率(0)	補正後 補助率(1/3)	補正額	補正前 補助率(1/2)	補正後 補助率(1/3)	補正額	一時預かり事業(私立)	1,580	0	527	527	265	527	262	子育て短期支援事業	30	0	10	10	15	10	△ 5	計	1,610	0	537	537	280	537	257	分担金		
	事業名	事業費			国 費			県 費																																			
			補正前 補助率(0)	補正後 補助率(1/3)	補正額	補正前 補助率(1/2)	補正後 補助率(1/3)	補正額																																			
一時預かり事業(私立)	1,580	0	527	527	265	527	262																																				
子育て短期支援事業	30	0	10	10	15	10	△ 5																																				
計	1,610	0	537	537	280	537	257																																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">事業名</th> <th rowspan="2">事業費</th> <th colspan="3">国 費</th> <th colspan="3">県 費</th> </tr> <tr> <th>補正前 補助率(0)</th> <th>補正後 補助率(3/4)</th> <th>補正額</th> <th>補正前 補助率(10/10)</th> <th>補正後 補助率(1/8)</th> <th>補正額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保育士処遇改善事業</td> <td>2,480</td> <td>0</td> <td>1,860</td> <td>1,860</td> <td>2,481</td> <td>309</td> <td>△ 2,172</td> </tr> <tr> <td colspan="2">国費補正額計</td> <td colspan="2"></td> <td>2,397</td> <td colspan="2">県費補正額計</td> <td>△ 1,915</td> </tr> </tbody> </table>		事業名	事業費	国 費			県 費			補正前 補助率(0)	補正後 補助率(3/4)	補正額	補正前 補助率(10/10)	補正後 補助率(1/8)	補正額	保育士処遇改善事業	2,480	0	1,860	1,860	2,481	309	△ 2,172	国費補正額計				2,397	県費補正額計		△ 1,915	使用料											
事業名	事業費			国 費			県 費																																				
		補正前 補助率(0)	補正後 補助率(3/4)	補正額	補正前 補助率(10/10)	補正後 補助率(1/8)	補正額																																				
保育士処遇改善事業	2,480	0	1,860	1,860	2,481	309	△ 2,172																																				
国費補正額計				2,397	県費補正額計		△ 1,915																																				
		国 費		2,397																																							
		県 費		▲ 1,915																																							
		市 債																																									
		その他																																									
		一般財源		610																																							
		補正額		1,092																																							
		H26補正前予算額		530																																							
		H26現計予算額		1,622																																							
事業の成果	現在榛原地域では公立保育所だけでは、待機児童が発生する。民間保育所があることにより、待機児童の発生を食い止め、市民の子育てへの支援の充実を図っている。																																										
事業の目標	現在、榛原地域では保育所の需要は急激に増加しており、国の子育て施策の動向もみつつ、待機児童の発生をおさえるよう民間保育所の事業拡大を含め、市民の子育てをサポートしていく。				特定財源の状況																																						
					保育緊急確保事業費補助金(国費) 保育士処遇改善事業 1,860千円 子育て短期支援事業 10千円 一時預かり事業 527千円 奈良県安心こども基金特別対策事業補助金(保育士処遇改善事業)△2,172千円 子育て支援事業補助金(県費) 子育て短期支援事業 △5千円 一時預かり事業 262千円																																						
備考																																											

事業区分	継続	事業名	子育て支援事業(財源更正)							
所管課	126	子ども支援課	(健康福祉部)		宇陀市予算					
事業の目的	子ども・子育て世帯を対象に、子育て支援事業を実施し、円滑に利用できるよう、地域の中で子どもが健やかに育成できる環境を図る。					区分	No.	区分名		
						款	3	民生費		
						項	2	児童福祉費		
						目	3	児童福祉施設費		
細目										
根拠条例等	子ども・子育て支援法第59条									
総合計画	基本計画 第2章 第5節 子育て支援が充実したまち									
H26年度事業の概要	事業名	事業費	国費			県費				
			補正前補助率(0)	補正後補助率(1/3)	補正額	補正前補助率(1/2)	補正後補助率(1/3)	補正額		
			地域子育て支援拠点事業	7,453	0	2,484	2,484	3,710	2,484	△ 1,226
			一時預かり事業	5,999	0	1,999	1,999	2,110	1,999	△ 111
計	13,452	0	4,483	4,483	5,820	4,483	△ 1,337			
事業の成果	安心して子ども・子育てを過ごせる、地域づくりを図る。									
	財源の内訳 (単位:千円)									
	分担金									
	使用料									
国費	4,483									
県費	▲ 1,337									
市債										
その他										
一般財源	▲ 3,146									
補正額										
H26補正前予算額	13,452									
H26現計予算額	13,452									
事業の目標	子ども・子育て支援法に規定されている、市が実施する子育て支援事業に対して、保育緊急確保事業費補助金を活用し、子ども・子育て支援事業を行い地域の中で子どもが健やかに育成できる環境を図る。					特定財源の状況				
						保育緊急確保事業費補助金(国費) 地域子育て支援拠点事業 2,484千円 一時預かり事業 1,999千円 子育て支援事業補助金(県費) 地域子育て支援拠点事業△1,226千円 一時預かり事業 △111千円				
備考										

事業区分	継続	事業名	奈良県緊急雇用創出事業臨時特例基金事業(住まい対策拡充等支援事業分)				
所管課	121	厚生保護課	(健康福祉部)		宇陀市予算		
事業の目的	平成27年4月に施行される生活困窮者自立支援法で実施が義務づけられている自立相談支援事業及び住宅確保給付金支給が円滑に実施できるよう、必要な準備を行う。				区分 No.	区分名	
					款	3	民生費
					項	3	生活保護費
					目	1	生活保護総務費
細目	1	生活保護総務費					
根拠条例等	緊急雇用創出事業臨時特例基金(住まい対策拡充支援等事業分)管理運営要領 奈良県緊急雇用創出事業臨時特例基金(住まい対策拡充支援等事業分)費補助金交付要綱						
総合計画	基本計画 第2章 第6節 心豊かな地域福祉の充実						
H26年度事業の概要	事業を実施するにあたり、事務用消耗品を整え、備品の購入で相談環境を整備し、関係研修会等への参加で相談員・就労支援員等の資質向上を図る。(本年度当初予算で計上済みの、住宅支援給付事業、自立支援プログラム策定実施推進事業に加えて、新たに補助対象となった生活困窮者自立支援制度施行円滑化特別対策事業に係る諸経費)				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	業務環境の整備及び相談員、就労支援員等の資質向上				使用料		
					国費		
					県費	480	
					市債		
					その他		
					一般財源	2	
事業の目標	必須事業の諸準備を整え、円滑な事業実施を図る。				補正額	482	
					H26補正前予算額	4,109	
					H26現計予算額	4,591	
					特定財源の状況		
備考					奈良県緊急雇用創出事業臨時特例基金事業費補助金 480千円		

事業区分	新規	事業名	損害賠償請求事件弁護士報酬金				
所管課	123	健康増進課	(健康福祉部)		宇陀市予算		
事業の目的	平成25年2月に発生した宇陀市立病院建設工事中の作業員死亡事故に関して、発注者である宇陀市が、請負者に対して安全を確保するための指示を怠ったとして損害賠償等を請求する訴訟を起こされたため、弁護士との訴訟委任契約による。				区分	No.	区分名
					款	4	衛生費
					項	1	保健衛生費
					目	1	保健衛生総務費
					細目	1	本庁保健衛生総務費
根拠条例等							
総合計画							
H26年度事業の概要	裁判に向けての準備会議等が進行中であったが、平成26年7月31日に奈良地方裁判所葛城支部宛てに、原告が宇陀市に対する訴えを取下げてきたため、それを受諾し、裁判が終結。 委託料 1,296,000円				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	裁判が終結したための弁護士報酬金 本来裁判終結時は着手金の2倍であるが、期間も短く、準備会議も3回であったため着手金と同額。				使用料		
					国費		
					県費		
					市債		
					その他		
一般財源	1,296						
補正額	1,296						
H26補正前予算額							
H26現計予算額	1,296						
事業の目標	損害賠償請求については認めない。				特定財源の状況		
備考							

事業区分	新規	事業名	宇陀じまんプロジェクト事業(健康づくり事業) <財源更正>				
所管課	123	健康増進課	(健康福祉部)		宇陀市予算		
事業の目的	ウェルネスシティ構想にもとづく健康づくり事業を実施し、健康増進、健康寿命の延伸につなげる。				区分 No.	区分名	
					款	4	衛生費
					項	1	保健衛生費
					目	4	健康づくり費
細目	82	ウェルネスシティ推進費					
根拠条例等	健康増進法						
総合計画	基本計画 第2章 第1節 健康づくりの推進						
H26年度事業の概要	ウェルネスシティ宇陀市構想に基づき、ウォーキングマップの作成、朝食料理教室、生活習慣病予防講演会、健診受診勧奨、がん予防講演会、歯科衛生普及事業を行う。 ウェルネスウォーキングマップ作成 216千円 生活習慣病予防(健診普及啓発・講演会) 502千円 食生活(調理実習) 158千円 歯科衛生(啓発ポスター) 52千円				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	ウェルネスシティ構想を推進する。				使用料		
					国費		
					県費	488	
					市債		
					その他		
					一般財源	▲ 488	
事業の目標	健康都市ウェルネスシティ宇陀市の実現を図る。				補正額		
					H26補正前予算額	928	
					H26現計予算額	928	
事業の目標					特定財源の状況		
					活力あふれる市町村応援補助金 488千円		
備考							

事業区分	継続	事業名	火葬場整備事業補助金			
所管課	103	環境対策課 (市民環境部)	宇陀市予算			
事業の目的	自治会管理の火葬場について、その撤去すべき施設及び設備の解体撤去を円滑に進める。		区分	No.	区分名	
			款	4	衛生費	
			項	1	保健衛生費	
			目	6	火葬場運営費	
			細目	1	火葬場運営費	
根拠条例等	宇陀市火葬場解体撤去事業補助金交付要綱					
総合計画	基本計画 第1章 第2節 生活環境の整備					
H26年度事業の概要	火葬場施設の解体撤去費用について補助(1/2)を行う。 負担金、補助及び交付金………1,300千円		財源の内訳 (単位:千円)			
			分担金			
事業の成果	火葬場を管理する自治会が、その管理する火葬場を解体及び撤去を行う場合の費用負担を軽減することができ、早期の老朽施設の除去が図れる。		使用料			
			国費			
			県費			
			市債			
			その他			
			一般財源	1,300		
補正額	1,300					
H26補正前予算額	1,000					
H26現計予算額	2,300					
事業の目標	老朽化した火葬場施設及び設備の除却について推進する。 解体作業に伴う周辺環境の汚染の防止。		特定財源の状況			
備考						

事業区分	新規	事業名	農地台帳システム整備事業				
所管課	841	農業委員会	(農林商工部農林課内)		宇陀市予算		
事業の目的	農地台帳について、平成26年4月1日に施行された改正農地法により、農業委員会が保有する農地の情報を1筆ごとに整備することとなり、法定化された農地台帳に整備すべき項目に対応すべく、台帳システムを改修するもの。				区分 No.	区分名	
					款	5	農林水産業費
					項	1	農業費
					目	1	農業委員会費
細目	1	農業委員会費					
根拠条例等	農地法						
総合計画	基本計画 第5章 第1節 農林業の活性化						
H26年度事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・システム整備費 打合せ・コード設計・コード設定60,000円×18人日=1,080,000円 ・住基・固定データ異動更新ツール構築 60,000円×22人日=1,320,000円 ・システム稼働テスト60,000円×25人日=1,500,000円 ・クライアントセットアップ・搬入現調60,000円×20人日=1,200,000円 ・農家台帳システム研修60,000円×3人日=180,000円 ・データ変換作業費用60,000円×48人日=2,880,000円 ・ハードウェア関連 640,000円 ・消費税704,000円 				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	農家台帳システムを改修することにより、農地情報公開が可能になり、農地の集積、集約化が図れる。				使用料		
					国費		
					県費	8,618	
					市債		
					その他		
					一般財源	886	
事業の目標	農地台帳システムの改修を行ったうえで、全国農業会議所が整備する農地情報公開システムへのデータ提供までを今年度中に行う。				補正額	9,504	
					H26補正前予算額		
					H26現計予算額	9,504	
事業の目標					特定財源の状況		
					農地台帳システム整備事業費補助金 8,618千円		
備考							

事業区分	継続	事業名	宇陀市農林産物品評会(財源更正)								
所管課	142	農林課	(農林商工部)		宇陀市予算						
事業の目的	農林産物の生産性及び品質の向上により、農林産物生産者の営農意欲の増進を図る。 また、幅広く消費者に宇陀の農林産物を販売し、新鮮・安心・安全性を啓発することで、地域農林業の発展を図る。				区分 No.	区分名					
					款	5	農林水産業費				
					項	1	農業費				
					目	3	農業振興費				
細目	1	農業振興費									
根拠条例等	宇陀市農林産物品評会開催要領										
総合計画	基本計画 第5章 第1節 農林業の活性化										
H26年度事業の概要	農林産物の生産者より、市内で生産された農林産物を出品いただき、品評会および即売会を実施する。また、出品された農林産物については、審査をおこない、優秀な農林産物の生産者に対し、表彰をおこなう。 事業費内訳 報償費 134 千円(参加賞、副賞等) 需用費 80 千円(消耗品等) 役務費 36 千円(郵送料等) 合計 250 千円 (内、県補助金 2/3 167千円)				財源の内訳 (単位:千円)						
					分担金		使用料		国費		県費
事業の成果	平成25年度は、宇陀市内の農林課より131点の出品があり、奈良県知事賞など20名が受賞(11月8日・9日に、うだアニマルパークにて開催)。市内農林家が生産した農林産物の啓発(新鮮・安全・安心)を図ることができた。				一般財源	▲ 167					
					補正額						
					H26補正前予算額	250					
		H26現計予算額	250								
事業の目標	農林産物品評会を通して、農林産物生産者のより一層の営農意欲と生産性及び品質の向上を図り、消費者に地元の農林産物のPRをおこなう。				特定財源の状況						
					活力あふれる市町村応援補助金 167千円						
備考											

事業区分	継続	事業名	農地・水保全管理支払交付金				
所管課	142	農林課	(農林商工部)		宇陀市予算		
事業の目的	農地・農業用水等の資源は、農村の過疎化、高齢化の進行に伴う集落機能の低下により、適切な保全管理が困難となっている。地域主体の保全管理の取組を強化し、地域共同による農地・農業用水等の資源の保全管理活動と、その一環として行う農村の環境保全活動に加え、農地周りの農業用排水路、農道、ため池等施設の長寿命化を図るための取組に対して支援する。				区分 No.	区分名	
					款	5	農林水産業費
					項	1	農業費
					目	3	農業振興費
細目	9	農地・水保全管理支払交付金事業					
根拠条例等	農地・水保全管理支払交付金実施要綱 平成24年4月6日23農振第2342号						
総合計画	基本計画 第5章 第1節 農林業の活性化						
H26年度事業の概要	当初 ○農地・水保全管理支払交付金(22地区377.67ha) ・共同活動支援交付金 2,791,301円(市負担金(25%)) 単価 田:3,300円、畑:2,100円 平成26年度より制度変更 ○多面的機能支払に制度変更し拡充 ・農地維持支払交付金 2,562,125円(市負担金(25%)) 単価 田:3,000円、畑:2,000円 ・資源向上支払(共同活動)交付金 1,504,827円 単価 田:1,800円、畑:1,080円 当初 2,791,301円 変更 4,066,952円(2,562,125円+1,504,827円) 増額分 1,275,651円				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	・農地維持支払及び資源向上支払(共同活動支援と同様) 地域共同による草刈りや土砂上げ等農地、水路等の基礎的な保全管理及び、花植え等良好な景観形成を保つための活動により、農村環境改善が見込まれる。 ・資源向上支払(施設の長寿命化) 農業用排水路等の補修・更新など施設の長寿命化のための活動により農業基盤が整備される。				使用料		
					国費		
					県費		
					市債		
					その他		
一般財源	1,276						
補正額	1,276						
H26補正前予算額	5,061						
H26現計予算額	6,337						
事業の目標	農地維持支払による農地、水路等の基礎的な保全管理や農村環境の保全及び、農業用排水路等の補修・更新等資源向上活動(共同活動)など、地域ぐるみの協力体制により、良好な農村の景観形成を築くことができ、また、資源向上活動(施設の長寿命化)により農業施設の基盤整備を行うことができる。この事業は平成28年度までの対策として継続する。				特定財源の状況		
備考	※向上活動支援交付金(13地区218.39ha)は、資源向上(施設の長寿命化)支払に名称変更され、交付金額2,066,830円に変更なし。また、推進事務費202,000円(内、市費2,000円)も変更なし。						

事業区分	新規	事業名	被災農業者向け経営体育成支援事業				
所管課	142	農林課	(農林商工部)		宇陀市予算		
事業の目的	平成25年度の大雪による農業や畜産農家の被害により、農産物の生産や畜産農家に必要な施設の損壊等、農畜産業経営の安定化に支障をきたす事態となっており、当該施設の再建等を行う際の経費について緊急的に助成する事業である。				区分 No.	区分名	
					款	5	農林水産業費
					項	1	農業費
					目	3	農業振興費
					細目	30	被災農業者向け経営体育成支援事業
根拠条例等	平成22年6月30日付け宇陀市告示第76号宇陀市経営体育成支援交付金交付要綱						
総合計画	基本計画 第5章 第1節 農林業の活性化						
H26年度事業の概要	雪害による被災農家(4軒)農業用施設再建計画事業費(規模拡大分含む) ・A農家 パイプハウス(育苗)2棟 1,868,400円 ・B農家 パイプハウス(農産)1棟 611,950円 ・C農家 パイプハウス(育苗)2棟 405,592円 ・D農家 パイプハウス(畜産)5棟 1,998,000円 事業費合計4,883,942円 内国補助金 2,257,070円 県補助金 195,212円 市補助金 195,212円				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	地方公共団体による支援や融資を受けて、農産物の生産に必要な被災施設を復旧させることで、農畜産業者の農畜産業に対する意欲の減退を阻止し、再度、安定した農業経営が再建される。				使用料		
					国費		
					県費	2,452	
					市債		
					その他		
					一般財源	196	
					補正額	2,648	
H26補正前予算額							
H26現計予算額	2,648						
事業の目標	雪害による被災農畜産業者の、農畜産業経営の維持				特定財源の状況		
					被災農業者向け経営体育成支援事業補助金 2,452千円		
備考							

事業区分	新規	事業名	農地中間管理事業業務委託				
所管課	142	農林課	(農林商工部)		宇陀市予算		
事業の目的	平成25年12月に農地中間管理事業の推進に関する法律が成立し、農地利用の集積集約化を行う農地中間管理機構を都道府県段階に創設し、遊休農地解消措置の改善対策等を講じることとなった。それに伴い本県でも「なら担い手・農地サポートセンター」が設立され、そこで行う業務の一部を受託することで、農地中間管理事業を効率的かつ円滑に推進する。				区分 No.	区分名	
					款	5	農林水産業費
					項	1	農業費
					目	3	農業振興費
細目	99	農地中間管理事業業務委託費					
根拠条例等	公益財団法人 なら担い手・農地サポートセンター中間管理事業業務委託契約書						
総合計画	基本計画 第5章 第1節 農林業の活性化						
H26年度事業の概要	農地中間管理事業に関する業務のうち、農地の出し手と受け手の申込書の受付、各種リストの作成及び関係書類の収集・調整を行うほか、農用地利用配分計画案の作成・提出。受け手からの利用状況報告書の提出等も行う。 ・需用費(コピー用紙、事務用品等) 201,000円 ・役務費(郵送切手代等) 100,000円 ・使用料及び賃借料 100,000円 合計 401,000円				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	相談窓口、出し手の掘り起こし、借受予定農用地等の位置・権利関係の確認、出し手・借受希望者との交渉等、地域に密着して市が携わることで円滑に業務が遂行されることが期待される。				使用料		
					国費		
					県費		
					市債		
					その他	400	
					一般財源	1	
事業の目標	農業の担い手が生産性の向上を図るべく、より多くの農地を面的にまとまった形で利用する状態を実現すること。担い手による農地集積が進めば、休耕地の抑制になることはもとより、スケールメリットによる農作物の生産コストの削減を通じて競争力を強化していくことにつながる。				補正額	401	
					H26補正前予算額		
					H26現計予算額	401	
備考					特定財源の状況		
					雑入(農地中間管理事業業務委託金) 480千円		

事業区分	継続	事業名	美しい森林づくり基盤整備交付金事業				
所管課	142	農林課	(農林商工部)		宇陀市予算		
事業の目的	森林の間伐等の実施の促進に関する特別措置法において、宇陀市が作成した「特定間伐促進計画」に基づき、森林所有者等が実施する取り組み(地球温暖化防止をはじめとする森林の多面的機能の維持増進のための森林整備事業 例:間伐・作業道開設)を支援するため、予算の範囲内で交付金を交付する。				区分 No.	区分名	
					款	5	農林水産業費
					項	2	林業費
					目	2	林業振興費
細目	1	林業振興費					
根拠条例等	宇陀市美しい森林づくり基盤整備交付金交付要綱						
総合計画	基本計画 第5章 第1節 農林業の活性化						
H26年度事業の概要	森林所有者等が実施した森林整備(間伐・作業道開設等)に対し、予算の範囲内で事業に係る1/2を補助する。 市では市内森林組合が森林所有者の代理となって交付申請を行っている。 【H26年事業】 全体事業費 50,200千円 (当初 28,550千円) うち国庫 25,100千円 (当初 14,275千円) 所有者負担 25,100千円 (当初 14,275千円) 事業概要 間伐 A=120ha (当初 80ha) 作業道 L=6,000m (当初 3,000m)				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	県補助事業「木材生産林育成整備事業」では対象とならない森林整備についても施業対象となるため、小規模山林所有者も比較的活用しやすい補助事業である。この事業で市内山林の森林整備を行うことにより、森林の持つ多面的機能の維持増進を図ることができる。 ※県補助事業では、間伐面積5ha以上かつ1haあたり10m ³ 以上の木材搬出がないと補助対象とならない。また、60年生以上の高齢級林も対象外となる。 当該事業は、上記事業要件を満たさなくても事業実施が可能である。ただし補助率は、県事業68%に対し当該事業は50%。 【H25実績】間伐 A=88.27ha 【H24実績】間伐 A=12.99ha 【H23実績】間伐 A=16.24ha				使用料		
					国費	10,825	
					県費		
					市債		
					その他		
					一般財源		
補正額	10,825						
H26補正前予算額	14,276						
H26現計予算額	25,101						
事業の目標	地球温暖化防止をはじめとする、森林の多面的機能の維持増進のための森林整備を支援することを目標とする。 【H26目標】 間伐 A=120ha 作業道整備 L=6,000m				特定財源の状況		
					美しい森林づくり基盤整備交付金 10,825千円		
備考	県補助事業「木材生産林育成整備事業」の採択要件が年々厳しくなり、小規模自伐林家が県補助事業を活用できにくくなったため、増額補正を行う。						

事業区分	継続	事業名	宇陀じまん市(うだ産フェスタ2014)事業(財源更正)				
所管課	141	産業企画課	(農林商工部)		宇陀市予算		
事業の目的	本市における特産品や自慢の産品を一同に集め、広く市内外に推奨することで、地域産業の活性化を目指すとともに、地産地消を促進させ、生産者の生産意欲の向上と地域産業の担い手づくりを目指す。				区分 No.	区分名	
					款	6	商工費
					項	1	商工費
					目	1	商工振興費
					細目	1	本庁商工振興費
根拠条例等	うだ産フェスタ2014開催要項						
総合計画	基本計画 第5章 第2節 商工業の活性化						
H26年度事業の概要	歳出:宇陀じまん市(うだ産フェスタ)実行委員会補助金 2,500千円 歳入:商工費県補助金 1,432千円 開催日時:平成26年10月25日(土)~26日(日) 午前10時~午後4時 場所:宇陀市総合体育館 周辺 開催内容:協賛団体の展示・特産品名産品等の販売 ・農産物の販売・市内企業PR・フリーマーケット ・ふるさとご当地グルメ・農産物品評会 即売 ・ゆるキャラ大集合 ・MBSラジオウォーキング、ゲストショー				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	宇陀市、奈良県、宇陀商工会、森林組合、JA奈良県、宇陀農業共済組合、宇陀市観光協会が実行委員会を立ち上げ、市の特産品や新鮮野菜等の販売、PRを行うとともに、宇陀市内で営業活動を行っている企業等のPR活動を市内外に行うことにより、地域産業の活性化、地産地消の促進、生産意欲の向上、新鮮野菜等のブランド化が期待できる。				使用料		
					国費		
					県費	1,432	
					市債		
					その他		
					一般財源	▲ 1,432	
事業の目標	市内の各種団体、企業が協働で、市内の特産品や新鮮野菜、宇陀市を広くPRすることで、宇陀市の知名度の向上、地域の活性化、地域所得の向上を目指す。				補正額		
					H26補正前予算額	2,500	
					H26現計予算額	2,500	
備考					特定財源の状況		
					活力あふれる市町村応援補助金 1,432千円		

事業区分	新規	事業名	観光資源保全事業				
所管課	146	商工観光課	(農林商工部)		宇陀市予算		
事業の目的	宇陀市の大切な観光スポットである榛原佛隆寺周辺の「彼岸花」が、シカやイノシシによる獣害により被害を受け、新芽はおろか球根についても確認できない状況となり、消失しかけているため、獣害防護柵を設置し、被害から防ぎ、観光資源の安定化を図る。				区分	No.	区分名
					款	6	商工費
					項	1	商工費
					目	2	観光費
					細目	1	本庁観光費
根拠条例等							
総合計画	基本計画 第5章 第4節 観光の振興						
H26年度事業の概要	委託料 ■金網柵 ・設置場所：佛隆寺「彼岸花」植生地周辺 <L=約171m/高さ：H=2m>				財源の内訳 (単位:千円)		
	獣害防護柵を設けることで、獣害により消失しかけている彼岸花を保全し、観光資源の存続と安定化を図る。				分担金		
使用料							
国費							
県費							
市債							
その他							
事業の成果					一般財源	1,000	
					補正額	1,000	
					H26補正前予算額		
					H26現計予算額	1,000	
事業の目標	宇陀市の観光資源である彼岸花を、獣害による被害から防護し、観光資源を確保する。				特定財源の状況		
備考							

事業区分	新規	事業名	大規模建築物等耐震診断支援事業				
所管課	161	都市計画課	(建設部)		宇陀市予算		
事業の目的	建築物の耐震改修の促進に関する法律が改正され、平成25年11月25日に施行された。 これにより、不特定多数の方が利用する建築物、あるいは、避難弱者が利用する建築物のうち大規模なもので、昭和56年5月以前に着工された建物を含む施設について、耐震診断を行い報告することが義務化され、その結果を公表されることとなった。 宇陀市内には、対象となる建物が1施設確認され、この耐震化の促進を図る。				区分	No.	区分名
					款	7	土木費
					項	4	都市計画費
					目	1	都市計画総務費
					細目	1	本庁都市計画総務費
根拠条例等	建築物の耐震改修の促進に関する法律						
総合計画	基本計画 第3章 第5節 安全安心な暮らしの実現						
H26年度事業の概要	要緊急安全確認大規模建築物と確認された社会福祉法人心境荘苑の一連の建築物のうち、耐震性の確認をしなければならない建物3棟(床面積 2,245.73㎡)の耐震診断を実施することに対し補助をする。 補助対象金額は、床面積に応じて算出している。 $2,060円 \times 1,000㎡ + 1,540円 \times 1,000㎡ + 1,030円 \times 245.73㎡ = 3,853,101円$ の5/6が限度額 3,210,000円(1,000円以下切り捨て)				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	避難弱者が利用する建築物の耐震性について、確認をし、その後の対策に繋げる。				使用料		
					国費	1,284	
					県費	1,284	
					市債		
					その他		
					一般財源	642	
					補正額	3,210	
H26補正前予算額							
H26現計予算額	3,210						
事業の目標	建築物の耐震改修の促進に関する法律に規定する期日(平成27年末)までに報告を行い、診断結果を耐震化に資する。				特定財源の状況		
					大規模建築物等耐震診断支援事業補助金(国費) 1,284千円 (県費) 1,284千円		
備考							

事業区分	継続	事業名	都市公園等施設維持修繕事業(財源更正)				
所管課	163	公園課	(建設部)		宇陀市予算		
事業の目的	市内都市公園施設において、利用者が安心・安全で利用できる施設整備を行うことにより、地域住民の活性化を図る。				区分 No.	区分名	
					款	7	土木費
					項	4	都市計画費
					目	2	公園費
					細目	1	公園費
根拠条例等	都市公園法に基づき宇陀市公園条例						
総合計画	基本計画 第1章 第5節 公園・緑地の整備						
H26年度事業の概要	都市公園等施設維持修繕工事				財源の内訳 (単位:千円)		
	1. 「地域の元気臨時交付金事業」(国庫) 大宇陀人麻呂公園駐車場舗装補修工事 舗装補修 A=510㎡ 3,500千円 2. 「活力あふれる市町村応援補助金事業」(県単) 椋原ふれあい広場整備 休憩施設(東屋)1基、歩道橋(人道橋)1基 4,000千円 (内補助対象経費 3,311千円)×補助率1/3				分担金		
事業の成果	都市公園機能の保全を図り、利用者が安心して利用できる。				使用料		
					国費		
					県費	1,103	
					市債	▲ 4,400	
					その他	3,325	
					一般財源	▲ 28	
				補正額			
				H26補正前予算額	10,800		
				H26現計予算額	10,800		
事業の目標	市民の交流の場、憩いの場としてや災害時の避難地、復旧拠点として、安心安全な整備に努め、住民の活性化に繋げる。				特定財源の状況		
					活力あふれる市町村応援補助金 1,103千円 地域づくり推進基金繰入金(地域の元気臨時交付金事業) 3,325千円 合併特例債 ▲4,400千円		
備考							

事業区分	新規	事業名	宇陀市消防団員安全装備品整備事業				
所管課	43	危機管理課	(総務部)		宇陀市予算		
事業の目的	消防団員の安全装備品を整備することにより、消防団員の公務災害を防ぎ、団員の安全を確保することを事業の目的とする。				区分	No.	区分名
					款	8	消防費
					項	1	消防費
					目	2	非常備消防費
					細目	1	本庁非常備消防費
根拠条例等							
総合計画	基本計画 第3章 第5節 安全・安心な暮らしの実現						
H26年度事業の概要	消防に従事する消防団員の安全を確保するために、「消防団員安全装備品整備等助成事業助成金」を活用して、防火衣一式、ヘルメットの配備を行う。 防火衣一式 5着(更新用) ヘルメット 21個(分団長以上:幹部の識別確認の為)				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	防火衣一式の更新により、消火活動時において筒先保持者の安全の確保が可能となる。 識別ヘルメットの更新により、現場において責任者の存在が明確となり、組織の指揮系統がスムーズに伝達できる。				使用料		
					国費		
					県費		
					市債		
					その他	373	
					一般財源	6	
	補正額	379					
	H26補正前予算額						
	H26現計予算額	379					
事業の目標	消防団員の安全確保ため、消防・水防活動における安全装備品の整備は今後も継続して更新していく。				特定財源の状況		
					雑入(消防団員安全装備品整備等助成事業助成金) 373千円		
備考							

事業区分	継続	事業名	災害対策対応		
所管課	43	危機管理課	(総務部)		
事業の目的 災害等の発生に備えて資機材の整備を図り、宇陀市民の安全と安心を確保する。			宇陀市予算		
			区分	No.	区分名
			款	8	消防費
			項	1	消防費
			目	3	災害対策費
細目	1	災害対策費			
根拠条例等					
総合計画	基本計画 第3章 第5節 安全・安心な暮らしの実現				
H26年度 事業の概要	災害時備蓄消耗品の購入 ブルーシート 80枚 (5.4m×5.4m) 80枚 (10.8m×9.0m) 土のう袋 3,000枚			財源の内訳 (単位:千円)	
				分担金	
事業の成果 災害の発生により、即座に應急的な処置を取ることで、大災害を食い止めることができる。これにより市民の生命・財産を守ることができる。				使用料	
				国費	
				県費	676
				市債	
				その他	▲ 17
				一般財源	
事業の目標 市民の安全安心を確保する。				補正額	659
				H26補正前予算額	
				H26現計予算額	659
備考				特定財源の状況	
				奈良県避難所機能緊急強化事業補助金 676千円 災害救助基金繰入金 △17千円	

事業区分	新規	事業名	小型動力ポンプ購入事業				
所管課	43	危機管理課	(総務部)		宇陀市予算		
事業の目的	消防施設の整備により消防団活動の充実強化を図り、宇陀市民の安全と安心を確保する。				区分	No.	区分名
					款	8	消防費
					項	1	消防費
					目	5	消防施設費
					細目	1	本庁消防施設費
根拠条例等							
総合計画	基本計画 第3章 第5節 安全・安心な暮らしの実現						
H26年度事業の概要	平成3年度以前に購入した消防車両を現在5台所有しており、この車両に積載している小型動力ポンプは老朽化(23年間以上使用)の為、故障も発生している状態で、団員は不安を抱えながらの消防活動を余儀なくされている。ことから小型動力ポンプ5台を更新し、団員が安心して消火活動に専念できる環境を整える。 1,440,000円 × 5台 × 1.08 = 7,776,000円				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	火災時において、機器の故障や不具合等の不安解消等、消防力の充実強化を図ることができる。				使用料		
					国費		
					県費		
					市債		
					その他	7,387	
					一般財源	389	
事業の目標	火災発生時、万全の設備で消火活動し、市民の安全・安心を確保する。				補正額	7,776	
					H26補正前予算額		
					H26現計予算額	7,776	
備考					特定財源の状況		
					地域づくり推進基金繰入金(地域の元気臨時交付金事業) 7,387千円		

事業区分	継続	事業名	小型動力ポンプ付積載車購入事業(財源更正)				
所管課	43	危機管理課	(総務部)		宇陀市予算		
事業の目的	消防施設の整備により消防団活動の充実強化を図り、宇陀市民の安全と安心を確保する。				区分 No.	区分名	
					款	8	消防費
					項	1	消防費
					目	5	消防施設費
					細目	1	本庁消防施設費
根拠条例等							
総合計画	基本計画 第3章 第5節 安全・安心な暮らしの実現						
H26年度事業の概要	宇陀市消防団組織再編の方針により、小型動力ポンプ付積載車を更新する。 公用車購入 7,000千円 諸経費 163千円				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	災害時における機動力の確保、故障や不具合等の不安解消など、消防力の充実強化を図ることができる。				使用料		
					国費		
					県費		
					市債	▲ 7,000	
					その他	6,650	
					一般財源	350	
					補正額		
H26補正前予算額	7,163						
H26現計予算額	7,163						
事業の目標	市民の安全・安心を確保する。				特定財源の状況		
					緊急防災・減災事業債 ▲7,000千円 地域づくり推進基金繰入金(地域の元気臨時交付金事業) 6,650千円		
備考							

事業区分	新規	事業名	大宇陀小学校スクールバス購入事業				
所管課	606	教育総務課	(教育委員会事務局)		宇陀市予算		
事業の目的	大宇陀小学校の安全な通学支援を行うため、スクールバスを2台購入し、旧車両と入替を行う。				区分 No.	区分名	
					款	9	教育費
					項	1	教育総務費
					目	2	事務局費
					細目	1	本庁事務局費
根拠条例等							
総合計画	基本計画 第4章 第3節 教育環境の整備・充実						
H26年度事業の概要	平成26年8月6日(水)午前7時40分頃、大宇陀小学校登校日のスクールバス運行中に、追突事故が発生し、車両が損壊した(児童の乗車なし・過失なし) 当該車両の運用を開始して既に14年以上経過しており、修理を行っても今後利用出来る期間はそれほどないため、車両の残存価格による保険金を受け取り、新車購入による車両入替を行う。 又、同校で運行している17年を経過したスクールバスは、不具合も多いため、同様に車両入替を行う。				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	児童の安全な通学支援が行える。				使用料		
					国費		
					県費		
					市債		
					その他	13,028	
					一般財源	795	
事業の目標	安全な通学支援を行う観点から、順次スクールバスの更新を行う。				補正額	13,823	
					H26補正前予算額		
					H26現計予算額	13,823	
事業の目標	安全な通学支援を行う観点から、順次スクールバスの更新を行う。				特定財源の状況		
					地域づくり推進基金繰入金(地域の元気臨時交付金事業) 11,028千円 雑入(保険金) 2,000千円		
備考	事故車両 三菱ローザ 初年度登録 平成12年4月 26人乗り マイクロバス 更新車両 三菱ローザ 初年度登録 平成9年6月 26人乗り マイクロバス						

事業区分	新規	事業名	菟田野中学校大規模改修事業				
所管課	606	教育総務課	(教育委員会事務局)		宇陀市予算		
事業の目的	学校施設は、児童が一日の大半を過ごす活動の場であり、非常災害時には地域住民の応急的な避難場所としての役割を果たすことから、施設の改修並びに長寿命化を進める。				区分 No.	区分名	
					款	9	教育費
					項	3	中学校費
					目	1	学校管理費
細目	1	本庁中学校管理費					
根拠条例等	公立学校施設に係る大規模地震対策関係法令及び地震防災対策関係法令の運用細目						
総合計画	基本計画 第4章 第3節 教育環境の整備・充実						
H26年度事業の概要	菟田野中学校大規模改修工事に伴う設計業務委託				財源の内訳 (単位:千円)		
	菟田野中学校の校舎・体育館・ランチルーム(H5年 築21年)の屋根は、老朽化のため大半がひび割れを起こし、雨漏りの度に一部補修を行っている。 施設の長寿命化を図るため、屋根葺き替え工事を行う。又、同施設内の、旧給食センター・プールについては、危険建物として解体撤去を行い、駐車場整備を行い有効活用を図る。				分担金		
事業の成果	大規模改修工事の実施により、児童が安全かつ快適に教育が受けられる良好な教育環境が維持できる。				使用料		
					国費		
					県費		
					市債		
					その他	9,500	
					一般財源	750	
補正額	10,250						
H26補正前予算額							
H26現計予算額	10,250						
事業の目標	安心安全な学校施設の整備並びに、地域の防災施設として活用されることから、早期改修並びに長寿命化を図る。				特定財源の状況		
					地域づくり推進基金繰入金(地域の元気臨時交付金事業) 9,500千円		
備考							

事業区分	継続	事業名	室生中学校トイレ改修工事(財源更正)																			
所管課	606	教育総務課	(教育委員会事務局)																			
			宇陀市予算																			
事業の目的	学校施設は、児童が一日の大半を過ごす活動の場であり、非常災害時には地域住民の応急的な避難場所としての役割を果たすことから、施設の改修並びに長寿命化を進める。			区分 No.	区分名																	
				款	9	教育費																
				項	3	中学校費																
				目	1	学校管理費																
細目	1	本庁中学校管理費																				
根拠条例等	公立学校施設に係る大規模地震対策関係法令及び地震防災対策関係法令の運用細目																					
総合計画	基本計画 第4章 第3節 教育環境の整備・充実																					
H26年度事業の概要	①1～3階の生徒用トイレの洋式化 ②2～3階の多目的トイレの改修 ③給食棟のシャワーブース改修設置			財源の内訳 (単位:千円)																		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>細節</th> <th>科目</th> <th>要求額</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>需用費</td> <td>消耗品費</td> <td>600千円</td> <td>事務費</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>監理業務</td> <td>4,000千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>工事請負費</td> <td>トイレ改修工事</td> <td>45,000千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td>49,600千円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	細節	科目	要求額	備考	需用費	消耗品費	600千円	事務費	委託料	監理業務	4,000千円		工事請負費	トイレ改修工事	45,000千円		合計		49,600千円		分担金
細節	科目	要求額	備考																			
需用費	消耗品費	600千円	事務費																			
委託料	監理業務	4,000千円																				
工事請負費	トイレ改修工事	45,000千円																				
合計		49,600千円																				
事業の成果	学校生活が豊かに ・水を使うスペースがきれいになることで、学校全体の印象が良くなる。例えば、トイレがきれいになることで、トイレに行くことへの抵抗感が少なくなり、健康につながる。 コミュニケーションのきっかけ ・使いやすく明るい雰囲気の手洗いで、自然なコミュニケーションが生まれる。 人を思いやる気持ちを育てる ・トイレをきれいに使うこととともに、他の人への配慮といったマナーを学び、清掃活動の重要性に気づくことで、公共精神の涵養につながる。			使用料																		
				国費																		
				県費																		
				市債	▲ 23,200																	
				その他	23,153																	
				一般財源	47																	
補正額																						
H26補正前予算額	49,600																					
H26現計予算額	49,600																					
事業の目標	○トイレ、手洗い、水飲み場を明るくきれいな空間とし、使いやすく、かつ会話が弾む楽しい場所を目指す。 ○水まわりスペースをきれいにすることで、学校全体の印象が良くなる。また、そのきれいな状態を自分たちで維持することを通じて、マナーや清掃活動の重要性を学ぶ。			特定財源の状況																		
				地域づくり推進基金繰入金(地域の元気臨時交付金事業) 23,153千円 過疎債 △23,200千円																		
備考																						

事業区分	新規	事業名	文化会館舞台照明調光操作卓改修				
所管課	602	生涯学習課	(教育委員会事務局)		宇陀市予算		
事業の目的	市民の文化向上を図ることを目的とした施設であることから、これの向上に寄与する施設整備の更新を行い安定した施設管理運営を行う。				区分 No.	区分名	
					款	9	教育費
					項	5	社会教育費
					目	1	社会教育総務費
細目	21	文化会館費					
根拠条例等	宇陀市生涯学習施設条例						
総合計画	基本計画 第4章 第4節 生涯学習の充実						
H26年度事業の概要	調光操作卓整備 備品購入費 13,878千円				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	施設備品を更新することにより、施設利用者の利便性が向上する。				使用料		
					国費	13,184	
					県費		
					市債		
					その他		
					一般財源	694	
事業の目標	施設の安全、利用しやすい施設整備。				補正額	13,878	
					H26補正前予算額		
					H26現計予算額	13,878	
備考					特定財源の状況		
					がんばる地域交付金 13,184千円		

事業区分	継続	事業名	中央公民館非常勤職員配置				
所管課	681	公民館	(教育委員会事務局)		宇陀市予算		
事業の目的	中央公民館(大宇陀分館)における非常勤職員の配置。				区分 No.	区分名	
					款	9	教育費
					項	5	社会教育費
					目	2	公民館費
					細目	1	本庁公民館費
根拠条例等	宇陀市公民館条例						
総合計画	基本計画 第4章 第4節 生涯学習の充実						
H26年度事業の概要	中央公民館(大宇陀分館)に非常勤職員1名配置することにより、公民館事業及び施設管理の展開を行う。				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	非常勤職員配置により、公民館事業及び施設管理の充実を図る。				使用料		
					国費		
					県費		
					市債		
					その他		
					一般財源	2,814	
事業の目標	職員減による非常勤職員配置により、公民館事業及び施設管理の充実を図る。				補正額	2,814	
					H26補正前予算額	9,243	
					H26現計予算額	12,057	
					特定財源の状況		
備考							

事業区分	継続	事業名	総合体育館改修事業				
所管課	602	生涯学習課	(教育委員会事務局)		宇陀市予算		
事業の目的	平成27年7月に開催されるインターハイの空手競技会場となる ことが決定しているため、老朽化した施設の改修と長寿命化を視 野に入れながら事業を実施する。さらには、今回実施できない部 分の改修については、特定財源の充当を勘案しながら検討して いく。 また、インターハイ空手道競技を行うことから、今後は、空手道 の県・全国大会を誘致するなど、東部地域のスポーツ拠点施設と しての利活用を図ると共に、防災拠点施設としても利用する。				区分 No.	区分名	
					款	9	教育費
					項	6	保健体育費
					目	2	体育施設費
細目	62	総合体育館費					
根拠条例等							
総合計画	基本計画 第4章 第5節 スポーツ・レクリエーションの充実						
H26年度 事業の概要	工事請負費 130,000千円 施設内道路舗装改修、進入道路門扉改修、 運動場周辺フェンス改修等 地下各室照明改修、体育館南側防水シート張り替え、 体育館内アリーナ、内装改修等 事業事務費 1,000千円				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
				使用料			
				国費	35,697		
				県費			
				市債	94,000		
				その他			
事業の成果	改修事業を実施することで、インターハイ空手道競技がスムーズ に開催され、出場選手のみならず、競技関係者、学校関係者の 方々に宇陀市開催ならではの企画を提供し、宇陀市のアピールを 行い、全国的に宇陀の知名度を高めていく。				一般財源	1,303	
					補正額	131,000	
					H26補正 前予算額	39,598	
				H26現計 予算額	170,598		
事業の目標	改修工事を行うことで、使用しやすい環境を整え、安心・安全な施 設とすることで、利用促進を図る。				特定財源の状況		
					がんばる地域交付金	35,697千円	合併特例債
備考							

事業区分	継続	事業名	室内温水プール及びテニスコート管理運営事業				
所管課	602	生涯学習課	(教育委員会事務局)		宇陀市予算		
事業の目的	老若男女を問わず、安全で快適、しかも年間を通して利用者が水中運動を通して健康保持、増進と体力向上の場として、またコミュニケーションの場として活用される事を目的とする。 また、空冷ヒートポンプチラーは、室内の冷暖房を管理するための必要な装置であるが、経年劣化が進んでいることから、年次的に交換を行い、利用者が安全・安心して温水プールの利用ができるよう整備する。				区分 No.	区分名	
					款	9	教育費
					項	6	保健体育費
					目	2	体育施設費
					細目	63	温水プール費
根拠条例等	宇陀市社会教育委員会に関する条例						
総合計画	基本計画 第4章 第5節 スポーツレクリエーションの充実						
H26年度事業の概要	賃金の減額 ▲2,814千円(非常勤職員1名減のため) 補正第1号 財源更正 空冷ヒートポンプチラー交換 19,000千円				財源の内訳 (単位:千円)		
	利用者が安全で安心して温水プールの利用ができ、水泳の練習及び年齢や体力に応じ、気軽に健康増進・維持のための体力づくりを行うことができる。また、小中学校の教育課程の水泳の授業でも温水プールは活用されており、子ども達に水泳の楽しさを味わわせ、スポーツに親しむ姿勢を養うことに貢献している。				分担金		
使用料							
国費							
県費							
市債					△ 18,000		
その他					18,050		
一般財源					△ 2,864		
事業の成果					補正額	△ 2,814	
					H26補正前予算額	24,752	
					H26現計予算額	21,938	
事業の目標	充実したスポーツ施設を整備することにより、スポーツ大会での活用や、安心・安全な施設でスポーツを楽しみたいという利用者、また、高齢者の割合の増加、生活習慣病予防に対する意識の高まりに対応した、市民の健康増進や体力向上の場を目指す。				特定財源の状況		
					地域づくり推進基金繰入金(地域の元気臨時交付金事業) 18,050千円 合併特例債 △18,000千円		
備考							

事業区分	継続	事業名	公共土木施設災害復旧事業				
所管課	181	建設課	(建設部)		宇陀市予算		
事業の目的	平成26年8月8日～10日の台風11号による豪雨災害で被災した箇所を速やかな復旧を行い公共の福祉を確保する。				区分	No.	区分名
					款	10	災害復旧費
					項	2	公共土木施設災害復旧費
					目	1	公共土木施設災害復旧費
細目	1	本庁公共土木施設災害復旧費					
根拠条例等	公共土木施設災害復旧事業国庫負担法						
総合計画	基本計画 第3章 第2節 道路交通網の整備						
H26年度事業の概要	公共土木施設災害復旧事業				財源の内訳 (単位:千円)		
	変更前	工事請負費	15,000千円		分担金		
		測量試験費	15,000千円		使用料		
		合計	30,000千円		国費		40,020
H26年度事業の概要	変更後	工事請負費	75,000千円	公共災害	17カ所	県費	
		測量試験費	15,000千円	崩土撤去他	70カ所	市債	
		役務費	27,000千円			その他	
		事務費	1,800千円			一般財源	
		合計	118,800千円				27,080
事業の成果	市が管理する道路・河川で、災害で被災した箇所を速やかに復旧し、通行の安全確保を図る。				補正額		88,800
					H26補正前予算額		30,000
					H26現計予算額		118,800
					特定財源の状況	公共土木施設災害復旧費国庫負担金 40,020千円 災害復旧事業債 21,700千円	
事業の目標	市が管理する道路・河川で、災害で被災した箇所を速やかに復旧し、通行の安全確保を図る。						
備考							

平成 26 年度 宇陀市介護老人保健施設事業特別会計 補正予算 [第 1 号] 事業別シート

事業区分	新規	事業名	機械入浴装置設置事業			
所管課	702	介護老人保健施設	宇陀市予算			
事業の目的	1. シャワー式の入浴装置を新たに導入する。 2. 入浴サービスの質の向上及び介護環境の改善を図る。			区分	No.	区分名
				款		
				項		
				目		
				細目		
根拠条例等						
総合計画	基本計画 第2章 第3節 高齢者が安心して暮らせるまち					
H26年度事業の概要	1. 設置機器 シャワー式入浴装置 一式 2. 予算 (1)資本的支出 建設改良費 機械及び装置購入費 4,200千円 (2)補正額(増額)は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収 支調整額311千円及び過年度分損益勘定留保資金3,889千円 で補てんする。			財源の内訳 (単位:千円)		
				分担金		
事業の成果	1. シャワー式の入浴装置を導入することで、皮膚等の疾患者も、 安心して入浴が可能となる。 2. 新たに当入浴装置を加えることで、1人当たりの入浴時間を増や することができる。 3. 既設入浴装置と併用することで、入浴者の身体の状態に適した 入浴装置を選択することができる。			使用料		
				国費		
				県費		
				市債		
				その他		
一般財源	4,200					
補正額	4,200					
H26補正前予算額						
H26現計予算額	4,200					
事業の目標	・入浴者の満足度を高める。 ・介護職員の入浴介助負担を軽減する。 ・入浴者の状態に適した入浴装置を使用することで、入浴リスクの 軽減を図る。			特定財源の状況		
備考						